

授業科目	母性看護学概論		単位数	1	時間数	20
担当講師 (実務経験)	専任教員(助産師) 開業助産師					
科目目標	1. 母性看護の基盤となるリプロダクティブ・ヘルス/ライツとセクシュアリティについて学び、性と生殖の健康と権利の基本を述べる事が出来る。 2. 母性看護の基盤となる母性・父性・親性をめぐる様々な定義を理解できる 3. 母子関係と家族発達について学び、親となることと家族の課題について理解できる。 4. 女性をとりまく社会の現状と、制度と法律について理解し、活用方法がわかる。 5. 思春期・成熟期・更年期・老年期にある女性の性と生殖に関する健康問題を理解し、看護の方法がわかる。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	1. 母性看護の基盤となる概念 1) 母性・父性・親性について 2) 家族発達	講義	専任教員	
	2	2	1. 母性看護の基盤となる概念 3) セクシュアリティとジェンダー 4) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	講義		
	3	2	2. 母性看護の対象理解 1) 女性のライフサイクルにおける形態と機能変化 2) 第2次性徴 3) 性周期 4) ヒトの発生	講義		
	4	2	3. 母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状 1) 母性看護の歴史の変遷と現状	講義	開業 助産師	
	5	2	3. 母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状 2) 母性看護の対象を取り巻く環境	講義		
	6	2	4. 女性のライフステージ各期における看護 1) 思春期の健康と看護 2) 成熟期の健康と看護	講義		
	7	2	4. 女性のライフステージ各期における看護 3) 更年期の健康と看護 4) 老年期の健康と看護	講義		
	8	2	5. リプロダクティブ・ヘルスケア 1) 家族計画 2) 人工妊娠中絶 3) 性感染症	講義		
	9	2	6. 勤労女性への健康支援 1) 勤労女性の健康 2) 事例学習	講義	専任教員	
	10	2	・事例学習に関する質疑応答 ・終講試験	講義		
評価方法	筆記試験 90 点+平常点 10 点(出欠席状況、授業態度、提出物)=100 点満点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論 医学書院					

授業科目	母性看護方法 I		単位数	2	時間数	40
担当講師 (実務経験)	専任教員(助産師) 臨床助産師 産婦人科医師					
科目目標	1. 正常な妊娠経過とそれを促すための看護援助を述べる。 2. 正常な分娩経過とそれを促すための看護援助を述べる。 3. 妊娠期・分娩期・産褥期におこる異常を述べる。 4. 出生前診断・生殖医療を受ける女性への意思決定支援について述べる。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
妊娠期の看護	1	2	・妊娠期の生理的变化と胎児発育1 ・妊娠の成立/母体の身体的変化/胎児の発育	講義	臨床 助産師	
	2	2	・妊娠期の生理的变化と胎児発育2 ・妊娠各期の心理的・社会的変化	講義		
	3	2	・妊娠期の経過を理解するための援助と保健指導1 ・妊婦健康診査/体重増加について	講義		
	4	2	・妊娠期の経過を理解するための援助と保健指導2 ・妊娠期のマイナートラブルと過ごし方 ・安全な出産と育児に向けた準備	講義		
	5	2	・妊婦健康診査の実際 ・子宮底長測定/レオポルド触診法/胎児心拍数確認/妊婦体験	演習		
分娩期の看護	6	2	・分娩期における看護師の役割 ・分娩の生理	講義	専任教員	
	7	2	・産婦と胎児のアセスメント1 ・分娩第1期から分娩第4期	講義		
	8	2	・産婦と胎児のアセスメント2 ・産婦の基本的ニーズへの看護 ・産痛緩和と分娩進行に応じた看護	講義		
	9	2	・産婦と家族の心理 ・早期母児接触 ・分娩体験の想起	講義		
	10	2	正常から逸脱した産婦の看護 ・娩出力の異常/回旋異常/異常出血/前期破水/胎児機能不全	講義		

妊娠期・分娩期・産褥期の異常	11	2	・妊娠期の異常1 ・妊娠持続期間の異常(流産・切迫流産／不育症／早産・切迫早産)	講義	医師
	12	2	・妊娠期の異常2 ・異所性妊娠 ・妊娠に伴う異常(妊娠悪阻／妊娠高血圧症候群／	講義	
	13	2	・妊娠期の異常3(妊娠と合併症) ・糖尿病/甲状腺機能亢進症/心疾患	講義	
	14	2	・分娩期の異常 ・異常出血(前置胎盤/常位胎盤早期剥離/軟産道裂傷/弛緩出血) ・胎児機能不全	講義	
	15	2	・産褥期の異常 ・子宮復古不全/産褥熱	講義	
生殖医療・出生前診断を受ける女性への看護の看護	16	2	・生殖医療 ・不妊症・不育症とは／不妊の原因と治療	調べ学習	専任教員
	17	2	・生殖医療 学習内容の発表／不妊症・不育症とその治療に関する／がん生殖医療	講義	
	18	2	・生殖医療 意思決定理論／生殖医療を受けるカップルへの支援 事例学習	事例学習 グループ 討議	
	19	2	・出生前診断 ・出生前診断とは／出生前診断の現況	講義	
1		・出生前診断を受けるカップルへの支援 事例学習	グループ 討議		
	20	1	・終講試験	試験	
評価方法	筆記試験 75 点(妊娠期・分娩期・各期の異常各 25 点)事例学習レポート 25 点の合計 100 点				
評価基準	60 点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2]母性看護学各論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1]母性看護学概論 医学書院				

授業科目	母性看護方法Ⅱ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	専任教員(助産師 産科病棟実務経験有) 助産師(産科病棟実務)					
科目目標	1. 正常な産褥経過とそれを促すための看護援助を理解する 2. 新生児の胎外生活適応過程とそれを促すための看護援助を理解する 3. 産褥期におこる異常とその看護を理解する					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
新生児期の看護	1	2	胎外生活への適応過程	講義	助産師 (産科病棟実務)	
	2	2	新生児の身体的特徴と発育発達の評価	講義		
	3	2	出生直後の新生児の看護	講義		
	4	2	胎外生活への適応を促すための日常援助	講義		
	5	2	新生児黄疸と光線療法	演習		
産褥期の看護	6	2	産褥の生理1(全身の変化/生殖器の変化)	講義	専任教員 (助産師 産科病棟 実務経験 有)	
	7	2	産褥の生理2(乳房の変化と母乳育児)	講義		
	8	2	産褥期の心理・社会的変化 産褥早期の母親役割獲得	講義		
	9	2	産褥経過のアセスメント 産褥期のニーズ・健康課題と看護	講義		
	10	2	産褥期の異常とその看護	講義		
	11	4	育児支援に必要な技術(褥婦の健康診査・母乳育児支援に関する技術・新生児の抱き方・沐浴)	演習		
	12	2	正常褥婦の看護過程 母子のヘルスアセスメント(事例学習)	講義・演習		
	13	3	正常産褥の看護過程 母子のヘルスアセスメント(事例学習)	講義・演習		
	15	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 80 点+課題 20 点の合計 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院					